

琵琶湖を守る・未来につなぐために、一番大事なことは？ みんなで考えました

- グループ1：ゴミを捨てない、生き物のすみかを作り、そして知らせることを続ける
 グループ2：琵琶湖の環境を守るために、活動を未来につなぐ
 グループ3：ゴミを出さない、ゴミを拾う、使い捨てのものを使わない、プラスチックごみを出さない
 化学肥料を使わない、環境こだわり農産物を買う
 グループ4：大切な琵琶湖を守るために、色んな人と交流を深め、楽しく活動に取り組む
 グループ5：やる気を出して、自分のまわりからきれいにin the world

子ども達が全体を通じて感じたこと

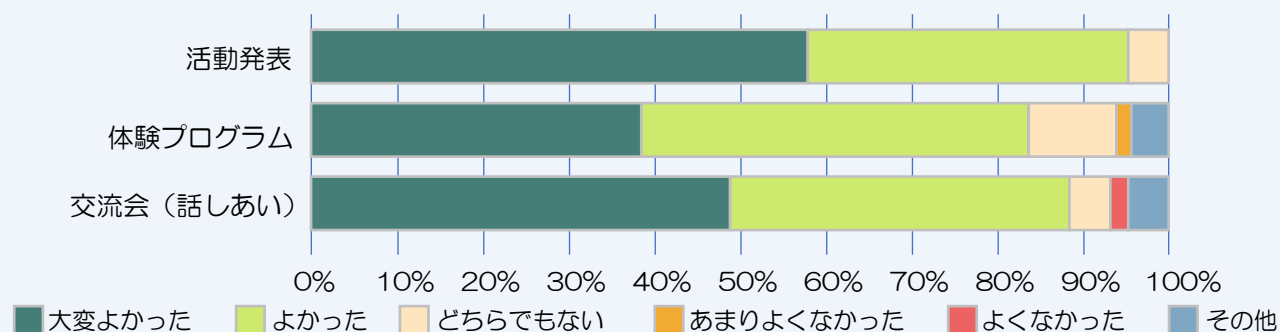
1. 船は楽しかった。船の中は快適だった。しかし、午後は船内が暑くて困った。
2. プログラムが色々あって楽しかった。
3. 楽しかったけど発表は緊張した。仲間が沢山いて嬉しかった。
4. 琵琶湖は穏やかで景色が綺麗だった。船酔いもしなくて良かった。
5. また子どもの水辺交流会に行きたい。次回も参加したい。
6. 大変有意義な勉強会だった。
7. 体験プログラムの時間をもう少し長めにとっていただきたい。とても興味深い内容なのに、すぐに次の活動へ移らないといけなかったのが残念だった。
8. 発表場所はもう少し広いとよかった。
9. 秋は様々なプログラムがあるので、もう少し時期が遅いほうがよい。



大学生スタッフの感想

1. 子ども達が、地域の自然から問題提起し、関心をもってそこからスタートして外来種とか、環境保全とか、自分たちが今学んでいることをすでに気がついて取り組んでいて驚いた。
2. 子ども達だけでなく、自分達も自然について学べてよかった。
3. 交流会の司会を初めて担当しましたが、子どもたちは好奇心旺盛で夢中になって取り組み、交流会では元気よく、発表、質問、交流をしてくれて、とても嬉しかったです。

参加者の感想（アンケートより、回答数43）



次回近畿「子どもの水辺」交流会in京都2025開催のご案内

令和7年11月9日(日)に 京都府立植物園横の鴨川と歴彩館にて、交流会の開催を予定しています。
 “つながり”をテーマに参加者同士のつながり、流域でのつながり、世代を超えたつながり、そして将来へつなげるために 水辺活動の成果発表、意見交換会、水辺に関する職業体験を準備しています。
 みんなで水辺の楽しさを分かち合いましょう！

in 滋賀2024

近畿「子どもの水辺」交流会



開催結果報告

近畿2府3県から、水辺で活動している小・中学生125名、引率者やスタッフも含めると総勢300人が大津港に集合し、大型客船ビアンカにて交流会を開催しました！

【プログラム概要】開催日時：令和6年11月9日（土曜日）、10:00～16:00

- ・午前 開会行事、プランクトン観察用試料水の採水見学
活動発表会（みんなの活動を発表）、体験プログラム1（びわ湖展望、びわ湖のお話）
- ・午後 体験プログラム2（プランクトン観察、魚観察、水質調査）
体験プログラム3（国際ボランティア学生協会の皆さんによるオオバナミズキンバイ除去活動のお話）
交流会（『びわ湖を守り、未来につなぐために一番大事なこと』などについてみなで意見交換）

近畿「子どもの水辺」交流会は、子どもたちに身近な水辺活動を広く発信してもらい、上下流・府県間を超えて「水辺」に関わる近畿の皆さんの交流を深め、地域ぐるみの水辺活動の継続・広がりを共に作り、水辺を守り育てることを目指しています。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

主催/近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会
 共催/近畿「子どもの水辺」交流協議会
 協力/滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、
 ぼてじゃこトラスト、(株) 共立理化学研究所

および、この事業は（公財）琵琶湖・淀川水質保全機構「琵琶湖・淀川こども水質保全活動助成」を受けて実施しています。

開会行事



実行委員長挨拶
美濃原弥恵



開催県挨拶
滋賀県土木交通部長
波多野真樹



全体進行
運営委員長
野田晃弘



ウォータン（左）と
キャプフィーもお出迎え



プランクトン観察用の水を採水する
琵琶湖環境科学センターの皆さん



琵琶湖と皆さんの所の水辺との
関係を説明する 澤井健二副委員長

活動発表会

子ども達に多くの学び、気づきがあり、たくさんの
はげましもヒントをもらいました！

木津川川ガキ団(京都府)



木津川で見つけた魚、両生類、顕微鏡で見つけた生き物、川の石など、各自の「イチ押し」を紹介しました！

生き物達のことをよく調べ、イラストか文字で分かりやすく伝えていてよかったです。

日野川エコスクール(滋賀県)



日野川のふしぎ（中流域の河床が粘土、上～下流で生き物が違う、山中に川の石がある？など）を探りました。

魚の気持ちになって魚のことをしっかり考えているんだなぁと思いました。

ガールスカウト大阪府第21団(大阪府)



糸田川の在来生物と帰化生物のせめぎあいの観察結果を発表しました。

在来種と外来種のことについてよく調べていて、よく分かりました。紙芝居みたいに写真を見せていくのがいいと思いました。

京都市立安朱小学校(京都府) 3年1組



総合学習の時間に地域の安祥寺山と安祥寺川の自然観察をし、それぞれの生き物について学び、これらを守って行くにはどうすればよいか、発表しました。

安祥寺川のきれいさがとてもよくわかりました。カルタを作ると安朱のきれいな自然がよく伝わるのがわかりました。絵札の絵がすごかった。アンシュマイマイは安朱地域以外ではほとんど絶滅しているなんて！

同校 3年2組



TANAKAMI こども環境クラブ(滋賀県)



琵琶湖や田上地域の川や田んぼで観察した水生生物やカヤネズミについて発表しました。

遊びの中で浮き輪での競争は楽しそうでした。写真を見せながら説明していて分かりやすかったです。

びわこ豊穡の郷 目田レンジャー(滋賀県)



目田川での『ホタルを守ろうプロジェクト』で、生き物を守る川づくりの活動を紹介しました。

ホタルを守るプロジェクトや川を守るプロジェクトを作っすごい！教えてもらったことを新聞にしていますごい！

蒲生マックスクラブわくわくチャレンジ隊(滋賀県)



日野川の源流・上流・中流で、それぞれの生き物を調べ、琵琶湖でカヌー体験もしました。

源流、上流、中流など、分けてそれぞれの生き物を紹介していて、様々な川のことについて知れました。

アシレンジャー(兵庫県)



芦屋市の住宅地の中を流れる芦屋川にもモクスガニなど多くの生き物が棲んでいます！

モクスガニについてとても詳しく調べられていて、とてもすごい！ホタルがいっぱいいるのを知ってビックリ！

山内エコクラブ(滋賀県)



野洲川流域で、自然環境と人の健康効果を学び、水辺の散在性ゴミ調査や観察会などを実施し、啓発につなげました。

ゴミがない川はすごくきれいな川なんだと思いました。ゴミをなくすためにしっかりゴミのことについて説明できていてすごいと思いました。

活動発表会

司会進行は学生、若手スタッフが担当しました

なかす野洲川たんけん隊(滋賀県)



野洲川で季節季節に植物観察やカヌーに乗ったりし、親子でヨシ舟も作りました。

とても明るくて、元気に楽しく活動しているのがよく伝わりました。これからもがんばってください！

ぼてじゃこワンパク塾(滋賀県)



滋賀県の各地で魚捕り・田んぼの生き物観察・外来魚釣り・地引網等の活動を行いました。

ぼてじゃこをあまり知らなかったで、分かりやすく説明してくださりありがとうございます。自然をととても大切にしているのがすばらしいと思います！！

桜谷チャレンジクラブ(滋賀県)



日野川上流の豊かな生き物を実感し、地元や研究者と絶滅危惧種カワバタモロコの飼育と保護にも取り組みました。

身近な人にも伝えて行くことが大切ってよくわかりました。もう一つの場所にしかないことに驚きました。皆さんの活動がとても大事になりますね！

自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ(兵庫県)



藻川で行われた水辺まつりでスタッフをし、たくさんの人に喜んでもらえました。大きなエイにびっくり！

3歳から活動しているなんてすごい。小さい頃から川とふれあうのはいいことだと思う。水辺祭りでボートに乗る体験がとても楽しそう！乗ってみたい！

交流会(話しあい)



グループ別交流会
司会進行：学生、若手スタッフ

グループ別交流会：テーマ①
体験プログラムを通して、琵琶湖について
どんなことを感じましたか？

グループ別交流会：テーマ②
ステキな琵琶湖を守る・
未来につなぐために、
一番大事なことは何ですか？



全体交流会
司会進行：北野大輔、小林慧人

各グループで話しあった結果を集約し（結果は裏面）、全員で確認しあいました。

最後に司会者から、活動のつながり、人のつながり、水辺のつながりが大事との話があり、「つながり」を合い言葉に誓い合いました。

奈良学園登美ヶ丘中学校 自然再生研究会(奈良県)



木津川水系の生態系を学園内のビオトープに復元するとともに、生態系の保全活動や子ども達への啓発活動を行いました。

外来種のこと、外来種が増えるとなぜ悪いかわかりました。金魚を川に逃がすのがいけないことを知りました。

玉一アクアリウム(兵庫県)



明石川での水生生物のモニタリング調査結果から、下流や河口域では見られる生物の季節変動の様子に変化が生じています！

自分たちで調査し、考えられるのはすごいなと思いました。また、地球温暖化が原因と知り、改めて自分達人間がすべきことについて考えさせられました。

高槻市立第6中学校 自然観察同好会(大阪府)



宇治川の河川道路を自転車で巡り、河川の現状や季節変化を実感し、桂川での竹林伐採等、保全活動もしました。

竹をこまかく切って環境をまもっているなんてすごい！いろんな活動をしているのに感心しました。発表も上手でさすが中学生！！と思いました。

体験プログラム



Prg.1 びわ湖展望、びわ湖のお話
説明：ラムサールびわっこ大使OBOG



Prg.2 プランクトン観察
指導：琵琶湖環境科学センター



Prg.2 魚観察 指導：琵琶湖博物館
ぼてじゃこトラスト



Prg.2 水質調査
指導：(株) 共立理化学研究所



Prg.3 オオバナミズキンバイ除去のお話
説明：NPO法人国際ボランティア学生協会

子ども達、引率者の声より
・見たことのないプランクトンが見られてよかった。
・ミカンジュースが1滴入っただけでも、水が汚れることを知って驚いた。
・とても興味深い内容なのに、すぐに次の活動へ移らないといけないうのが残念でした。
・オオバナの説明は特徴がわかりやすくて、記憶に残った。